

アクモスグループの新鮮情報をお伝えするIRマガジン

# ACMOS HIGHWAY

アクモス ハイウェイ

Top Message

## 着実な「発展」を目指して

特集

情報セキュリティの取り組み

アクモスジャンクション

株式会社ジイズスタッフ 健康関連サービス

アクモスグループ 働きやすい環境づくりの取り組み

アクモス 株式会社

証券コード：6888

2020  
Vol.17

# アクモスの事業

## アクモスグループは、お客様に感動していただける プロフェッショナルなサービスを提供いたします。

アクモスグループはアクモス株式会社および子会社3社で構成され、各社の連携ならびにパートナー企業との協力により、お客様のニーズに応えるITソリューション、ITサービスを提供しています。  
持続的な成長の実現を目指して、輝くICTサービスで社会の向上に貢献するべく活動してまいります。

### ITソリューション事業



ネットワーク構築

ITインフラを安全かつ確実に  
稼働させるためのトータル  
ソリューション提供  
・サーバー環境や大規模ネット  
ワークの構築・保守  
・セキュリティ関連の診断 など



地図情報提供サービス

地図に関わる情報や  
システムの提供  
・地図デジタルデータの入力  
・一般企業や自治体の地理情報  
システムの構築  
・GISエンジンの販売  
・インターネット地図情報配信  
など



システム運用監視

システムの安定運用により  
お客様の業務遂行を  
バックアップ  
・24時間365日対応の客先常駐  
型運用 など



SI・ソフトウェア開発

お客様の情報に関わる  
ITソリューションを提供  
・一般企業の業務システム  
・自治体のITソリューション  
・宇宙関連システム  
・消防通信指令システム など



医療情報システム

病院内システムの導入から  
運用管理までをサポート  
・コンサルティング  
・システム構築  
・運用管理 など

### ITサービス事業



ビジネスプロセスアウトソーシング

お客様の業務効率化と  
コスト削減を実現し、  
ビジネスプロセスを最適化  
・ストレスチェック関連サービス  
・コールセンターや事務局の運  
営 など



情報処理サービス

お客様の情報に関わる  
ITサービスを提供  
・データ入力  
・マークシート・WEBでのアン  
ケート制作(印刷) から集計  
・試験採点や選挙集計  
・オンデマンド印刷・封入発送作  
業 など

### 長期ビジョン2025

私たちは輝くICTサービスで  
社会の向上に貢献します。

#### 目指すべき方向性

- 1.アクモスグループは、きらりと光るICTサービスを提供して持続的な成長を実現します。
- 2.アクモスグループは、個性豊かな企業集団を目指します。

#### 長期数値目標

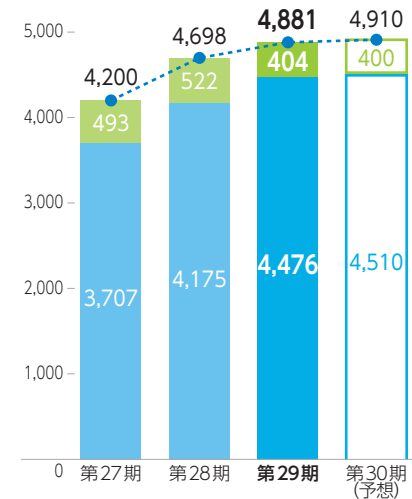
株主資本利益率(ROE)  
15%

時間当たり付加価値  
5,000円

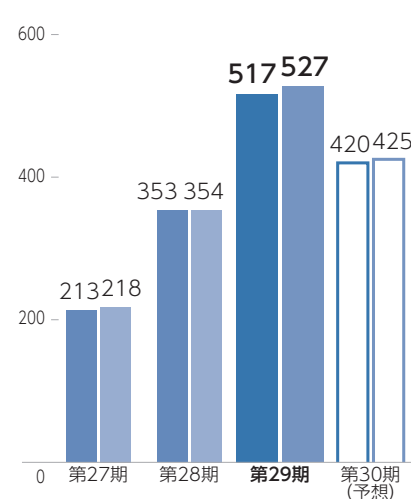
当社グループは、2016年7月に制定した「長期ビジョン2025」の達成を目指し、3年おきにより具体的な計画である中期経営計画を策定して推進しています。

# 財務ハイライト

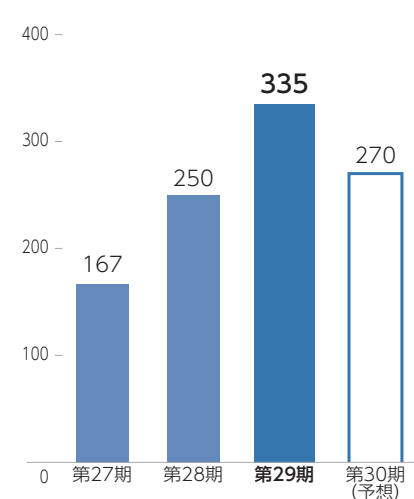
売上高 (単位:百万円)  
ITソリューション事業 ITサービス事業 連結



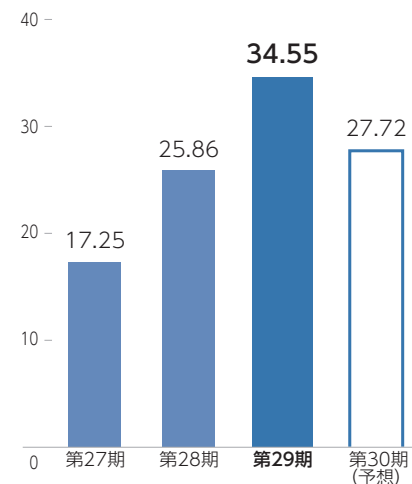
営業利益 経常利益 (単位:百万円)



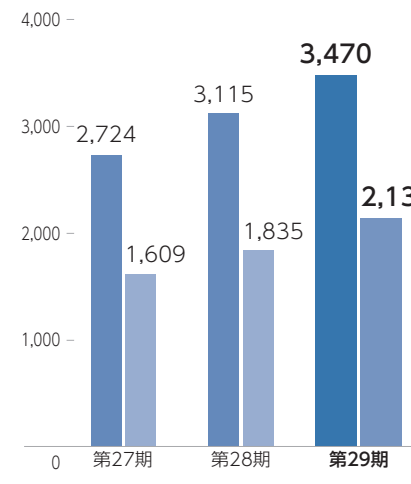
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



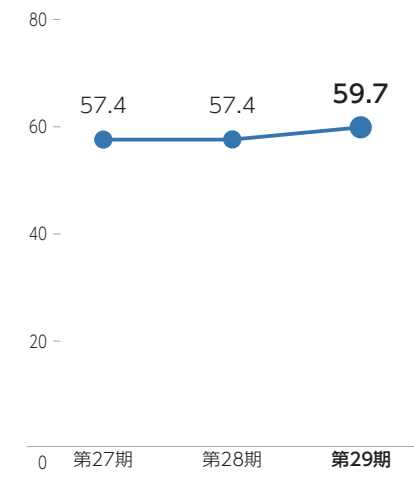
1株当たり当期純利益 (単位:円)



総資産 純資産 (単位:百万円)



自己資本比率 (単位:%)



※自己資本比率=自己資本(純資産-新株予約権-非支配株主持分)/総資産



代表取締役会長 兼 CEO  
飯島 秀幸

代表取締役社長 兼 COO  
清川 明宏

## 着実な「発展」を目指して

### 第29期のご報告

～ITソリューション事業が好調、過去最高益に～

当社第29期は、中期経営計画Ⅱ（2019/07-2022/06）の初年度として「発展」をテーマに専門分野を深耕し、新サービスでお客様を獲得する個性豊かなグッドカンパニーを目指してまいりました。

### 個性豊かなグッドカンパニーへ

#### Good Business

専門特化した製品・サービスの創出やアライアンス活用により、お客様が求めるICTサービスを提供し、社会の向上に貢献する

#### Good Value

安定的収益を確保しながら、持続的な成長を実現する

#### Good Members

社員と共に成長し、幸せを追求する

当社グループの事業を取り巻く環境として、人手不足や働き方改革、情報セキュリティ強化、社員の健康づくりや介護予防、防災といった社会的課題を解決するためのICT活用ニーズが増しております。

こうした環境のなか、グループ各社は専門特化分野の強化とともに、時間当たり付加価値をKPIとする部門別採算制度（ウィングシステム）を活用することにより、収益力の向上に努めてまいりましたが、特にITソリューション事業において、前期に引き続き好調な受注が継続したことに加え、人員の戦略的ローテーションや付加価値向上への取り組みが成果を上げたことにより、当初の目標を大きく上回り過去最高益となりました。

また、中期経営計画Ⅱ（2019/07-2022/06）の業績目標達成に対するインセンティブを付与する譲渡制限付の株式報酬制度を導入し、任意の指名報酬委員会を設置するなど、コーポレート・ガバナンス体制の充実にも取り組みました。

以上の結果、第29期の連結業績は、売上高4,881百万円（前期比3.9%増）、営業利益517百万円（前期比46.3%増）、経常利益527百万円

（前期比49.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益335百万円（前期比33.6%増）となりました。経営指標として掲げている営業利益率は10.6%（前期は7.5%）、株主資本利益率（ROE）は17.4%（前期は15.0%）、時間当たり付加価値は3,730円（前期は3,425円）となりました。

### 新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、当社グループでは国及び自治体からの指導・要請に応じつつ、IT企業である当社グループの特性を生かして情報セキュリティに留意した在宅勤務やWEB会議システムの運用を推進し、出勤する場合は時差通勤を推奨するなど、社員及び関係者の感染防止に努めております。

第29期は、ITサービス事業において集合型イベントの中止や延期によりそれに付随するアンケートや試験事務局の業務が影響を受け、営業を強化し受注拡大に努めましたが当初目標の達成には至りませんでした。一方、ITソリューション事業では例年売上のピークを迎える3月までの業務量に変化は見られず、4月以降においても一部着手時期の延期などの若干の影響があった



ものの、官公庁からの受注が好調であったため業績は大きく伸ばいたしました。

### 第30期の展望

～厳しい環境に対応し、さらなる発展を目指す～

第30期は中期経営計画Ⅱ（2019/07-2022/06）の2年度目として引き続き、専門特化分野を強化して収益力の向上を図り、目標達成に邁進してまいります。在宅勤務などで行動が制限されるなかでもWebマーケティング活用やグループ各社での連携により営業力を強化して業務量の確保に努めるとともに、withコロナ下での働く環境の整備や人材の採用・育成を進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の収束に見通しが立たないなかで連結業績への影響を精査することは困難ではありますが、第30期の業績予想にあたり、以下の条件を前提に予想いたしました。ITサービス事業においては前述した集合型イベントに付随する業務への影響が通期にわたり継続すると予想して、その影響を見込んでおります。ITソリューション事業は、労働環境、営業

活動について概ね2020年7月の状況が継続すると想定し、影響はある程度限定的と判断しております。

以上のことから、第30期の連結業績は、売上高4,910百万円（前期比0.6%増）、営業利益420百万円（前期比18.8%減）、経常利益425百万円（前期比19.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益270百万円（前期比19.4%減）を予想しております。経営指標については、営業利益率9%、株主資本利益率（ROE）12%、時間当たり付加価値3,600円を目指して進んでまいります。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響などにより予想は変動する可能性がございます。業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。

### 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社では、株主のみなさまに対する安定的な配当の実現を中長期的な重点課題として位置付けております。グループ各社の業績が安定的に推移していることから、当社は2020年7月16日に発表の通り、配当方針を連結の親会社株主に帰属する当期純利益の30%以上を目標とすることに變更いたしました。

第29期の期末配当は、この配当方針に基づき1株当たり11円（配当性向31.8%）とさせていただきます。第30期の期末配当は、1株当た

り9円（配当性向32.5%）を予定しております。第30期の展望でご説明した通り、業績予想において第29期より減益を見通しており、誠に遺憾ながら減配の予想ではありますが、中期経営計画Ⅱ（2019/07-2022/06）で掲げた個性豊かなグッドカンパニー実現のために、企業価値の向上と持続的な成長を図り、業績及び配当水準の回復に努めてまいります。

株主のみなさまには、引き続きご理解とご支援を賜りますよう深くお願い申し上げます。

|                 | 第28期     | 第29期     | 第30期（予想） |
|-----------------|----------|----------|----------|
| 売上高             | 4,698百万円 | 4,881百万円 | 4,910百万円 |
| 営業利益            | 353百万円   | 517百万円   | 420百万円   |
| 経常利益            | 354百万円   | 527百万円   | 425百万円   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 250百万円   | 335百万円   | 270百万円   |
| 営業利益率           | 7.5%     | 10.6%    | 9.0%     |
| 株主資本利益率（ROE）    | 15.0%    | 17.4%    | 12.0%    |
| 時間当たり付加価値       | 3,425円   | 3,730円   | 3,600円   |

## アクモス株式会社 情報セキュリティの取り組み

当社では、専門特化分野としている情報セキュリティの強化を目指して、自社セキュリティ製品・サービス創出のほか、さまざまな施策を進めてきました。

これまでの取り組みとして、高度な情報セキュリティに関する知見を有するメンバーを選出し、高度情報セキュリティ研修の受講と横展開、定期的な情報交換および課題の共有と対策を行ってきました。情報セキュリティ技術者同士が切磋琢磨することが、高度な情報セキュリティ技術者の人材育成とともに全社の情報セキュリティ技術力の底上げにもつながっています。

また、お客様に安心・安全なシステムを提供するため公的機関と連携した取り組みも進めています。

### 「情報セキュリティサービス基準適合サービスリスト」に登録

当社のセキュリティ診断サービスが、経済産業省が策定した「情報セキュリティサービス基準」に適合する情報セキュリティサービスとして登録

### 「サイバーセキュリティ協議会」加入

内閣サイバーセキュリティセンターが発足した「サイバーセキュリティ協議会」に第三期構成員として加入

新型コロナウイルス禍における「新たな生活様式」に伴い、テレワーク等の案件も増加しています。今後も引き続き、情報セキュリティ技術力の向上に注力し、各種セキュリティベンダーとの協業を含め、サイバーセキュリティ協議会等を通じた重要なセキュリティ情報の迅速な共有および対策等を図ることで、お客様に安心・安全なシステムを提供していきたいと考えています。

## 標的型攻撃メール対応訓練ソリューション

標的型攻撃メール対応訓練ソリューションは、2017年に訓練をトータルに支援するコンサルサービスとして提供を開始し、その後、Webアプリ化を推進してSaaS型クラウドサービスとしてお客様自身の操作で容易かつ継続的に訓練を実施していただけるようになりました。現在は、パートナー企業との連携やWebマーケティング強化により契約数を伸ばし、新規顧客獲得にも寄与しています。

最新型の**SYMPROBUS CoTra-Enterprise**では、訓練メールのランダム配信・分散配信やグループ単位の管理ができるようになり、訓練期間は1年間と長期間で運用できるため、お客様自身で高度かつ継続的な訓練を実施することが可能となっています。



これからもお客様の求める情報セキュリティサービスを創出し、提供していきます。

### eラーニングサービス KUROKO LMS

情報セキュリティに特化したeラーニングシステム。実践的な標的型攻撃メール対応訓練ソリューションと組み合わせることで、さらなるリテラシーアップを図ることができます。



※「KUROKO LMS」は株式会社エム・クレストと当社が共同開発したサービスです。

# 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表

| (単位：千円)     |                      |                      |
|-------------|----------------------|----------------------|
| 科 目         | 第28期<br>2019年6月30日現在 | 第29期<br>2020年6月30日現在 |
| 資産の部        |                      |                      |
| 流動資産        | 2,726,084            | 3,035,111            |
| 固定資産        | 389,128              | 435,428              |
| 有形固定資産      | 193,383              | 195,387              |
| 無形固定資産      | 60,222               | 65,604               |
| 投資その他の資産    | 135,522              | 174,435              |
| 資産合計        | 3,115,213            | 3,470,539            |
| 負債の部        |                      |                      |
| 流動負債        | 1,220,510            | 1,329,448            |
| 固定負債        | 59,290               | 8,624                |
| 負債合計        | 1,279,800            | 1,338,073            |
| 純資産の部       |                      |                      |
| 株主資本        | 1,775,730            | 2,066,326            |
| 資本金         | 693,250              | 693,250              |
| 資本剰余金       | 1,176,282            | 1,176,282            |
| 利益剰余金       | △ 39,890             | 250,727              |
| 自己株式        | △ 53,911             | △ 53,933             |
| その他の包括利益累計額 | 10,957               | 7,131                |
| 非支配株主持分     | 48,724               | 59,008               |
| 純資産合計       | 1,835,413            | 2,132,466            |
| 負債純資産合計     | 3,115,213            | 3,470,539            |

Point 1

資産の部

資産は、前期末に比べ355百万円増加しています。

流動資産の増加の主な理由は、現金及び預金の増加265百万円があったことによるものです。

固定資産の増加の主な理由は、敷金及び保証金の増加26百万円があったことによるものです。

Point 2

負債の部

負債は、前期末に比べ58百万円増加しています。

流動負債の増加の主な理由は、預り金の減少30百万円があった一方、買掛金の増加24百万円、短期借入金の増加20百万円、未払金の増加60百万円、未払費用の増加41百万円があったことによるものです。

固定負債の減少の主な理由は、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の返済55百万円があったことによるものです。

Point 3

純資産の部

純資産は、前期末に比べ297百万円増加しています。

純資産の増加の主な理由は、親会社株主に帰属する当期純利益335百万円、配当金の支払い48百万円によるものです。

## ■ 連結損益計算書

| (単位：千円)         |                                        |                                        |
|-----------------|----------------------------------------|----------------------------------------|
| 科 目             | 第28期<br>(自 2018年7月 1日<br>至 2019年6月30日) | 第29期<br>(自 2019年7月 1日<br>至 2020年6月30日) |
| 売上高             | 4,698,233                              | 4,881,481                              |
| 売上原価            | 3,218,988                              | 3,174,181                              |
| 売上総利益           | 1,479,244                              | 1,707,300                              |
| 販売費及び一般管理費      | 1,125,630                              | 1,189,891                              |
| 営業利益            | 353,613                                | 517,408                                |
| 営業外収益           | 3,244                                  | 12,235                                 |
| 営業外費用           | 2,713                                  | 2,064                                  |
| 経常利益            | 354,145                                | 527,579                                |
| 特別利益            | 14,434                                 | —                                      |
| 特別損失            | 1,864                                  | 12,410                                 |
| 税金等調整前当期純利益     | 366,715                                | 515,168                                |
| 法人税等            | 111,363                                | 168,324                                |
| 当期純利益           | 255,352                                | 346,844                                |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 4,516                                  | 11,689                                 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 250,836                                | 335,155                                |

Point

連結損益計算書

ITソリューション事業において、前期から引き続きシステム更新に伴う常駐型開発案件が高水準で稼働していること、官公庁の入札案件や消防防災案件が利益増加に寄与したことなどにより、売上高4,881百万円（前期比3.9%増）、営業利益517百万円（前期比46.3%増）、経常利益527百万円（前期比49.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益335百万円（前期比33.6%増）となりました。

## ■ 連結包括利益計算書

| (単位：千円)           |                                        |                                        |
|-------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|
| 科 目               | 第28期<br>(自 2018年7月 1日<br>至 2019年6月30日) | 第29期<br>(自 2019年7月 1日<br>至 2020年6月30日) |
| 当期純利益             | 255,352                                | 346,844                                |
| その他の包括利益          | 61                                     | △ 3,826                                |
| 包括利益              | 255,413                                | 343,018                                |
| (内訳) 親会社株主に係る包括利益 | 250,897                                | 331,328                                |
| 非支配株主に係る包括利益      | 4,516                                  | 11,689                                 |

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

| (単位：千円)          |                                        |                                        |
|------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|
| 科 目              | 第28期<br>(自 2018年7月 1日<br>至 2019年6月30日) | 第29期<br>(自 2019年7月 1日<br>至 2020年6月30日) |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 487,675                                | 452,913                                |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 57,783                               | △ 102,178                              |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 99,383                               | △ 85,040                               |
| 現金及び現金同等物の増減額    | ※403,871                               | 265,693                                |
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 1,571,036                              | 1,974,908                              |
| 現金及び現金同等物の期末残高   | 1,974,908                              | 2,240,602                              |

※非連結子会社であった株式会社エクスカルを吸収合併したことに伴う増加額73,361千円を含んでおります。

Point

連結キャッシュ・フロー計算書

（営業活動によるキャッシュ・フロー）  
法人税等の支払額179百万円、たな卸資産の増加28百万円があった一方、仕入債務の増加19百万円、税金等調整前当期純利益515百万円、資金の移動を伴わない減価償却費45百万円があったことによるものです。  
（投資活動によるキャッシュ・フロー）  
有形固定資産の取得による支出36百万円、無形固定資産の取得による支出37百万円、敷金及び保証金の差入による支出27百万円によるものです。  
（財務活動によるキャッシュ・フロー）  
短期借入金の借入による収入20百万円があった一方、配当金の支払額48百万円、長期借入金の返済による支出55百万円があったことによるものです。

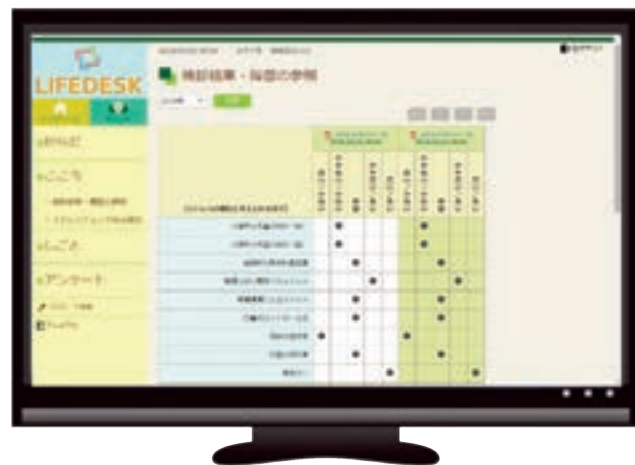


## 株式会社ジイズスタッフ

### 健康関連サービス

ジイズスタッフでは、労働生産性の向上に取り組む企業にむけたソリューションとして、クラウド健康管理システム「LIFEDESK」をはじめとする健康経営関連のパッケージサービスをリリースしています。

LIFEDESKは2017年に提供開始し、バージョンアップを重ねながら、2019年10月には機能強化版のリリースに至りました。また、同じ年の秋には紙の健康診断結果を電子化するサービスを開始するなど、特にここ一年は企業内で健康管理業務に携わる方々、例えば産業医、保健師、労務管理担当者などの業務を支援する機能、サービスの拡充にフォーカスした年となりました。



新型コロナウイルス感染拡大に伴う在宅勤務の普及により、これまで定期的に職場巡視をしていた産業医の方々、会社内で健康指導・健康相談にあたっていた保健師の方々も、社員と直接面談する機会が制限され、リモートでデータを閲覧するニーズが高まっています。

これまで紙で保管していた健診結果をまずはデータ化し、さらにインターネットでいつでも、どこでも医師や産業保健スタッフが社員の健康情報にアクセスできるLIFEDESKのようなソリューションは、コロナ禍のような非常事態にこそ求められるサービスであると確信しています。

■ 株式会社ジイズスタッフ

■ 所在地：〒101-0052

東京都千代田区神田小川町3-26-8 神田小川町三丁目ビル3F

■ U R L : <https://www.gstf.jp>

■ T E L : 03-5217-3131 FAX : 03-5217-3134

## アクモスグループ

### 働きやすい環境づくりの取り組み

アクモスグループでは、オフィスの見直しや新型コロナウイルス対策を契機にした新しい働き方への対応を進めるなど、社員の成長を支える労働環境の整備に注力しています。

#### オフィスの移転、新設等

2019年

11月 ASロカス株式会社がベイエリアの千葉みなとに本社移転

12月 ACMOSソーシングサービス株式会社がオフィスレイアウト変更

2020年

3月 アクモス株式会社がアクセスの良い水戸駅前に新オフィス開設



アクモス株式会社 新オフィスの社内風景



ASロカス株式会社 移転先の新オフィス

#### 新しい働き方に向けて

2020年初頭からの新型コロナウイルス感染拡大に伴い、グループ各社では社員及び関係者への感染防止対策として、時差通勤の推奨、可能な場合は極力テレワーク対応、自社専用のWeb会議システムを構築して会議や新入社員研修はリモートで行うなどの取り組みを行いました。また、感染リスクが高い病院常駐エンジニアに対しては支援金を支給するなど、社員のサポートにもつとめました。

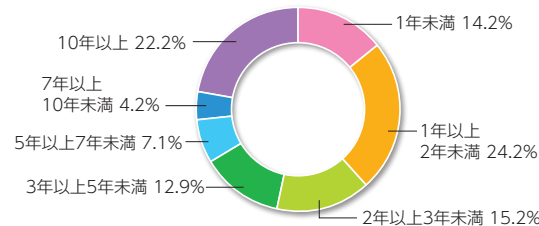
テレワークやWeb会議システムについては継続的な活用を目指して事業体制の構築を進めるなど、今後も新しい働き方への転換に向けた取り組みを続けていきます。

# アンケート結果報告

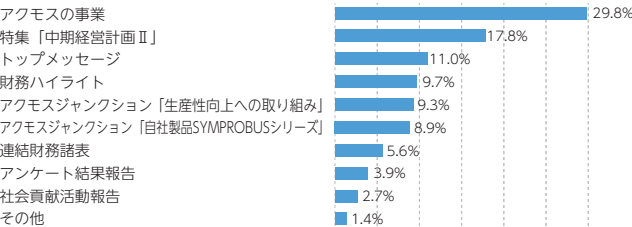
2019年秋発行のアクモスハイウェイに同封の「株主さまアンケート」につきまして、多くのみなさまから貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。

アンケート実施概要  
実施期間：2019年9月26日～2019年10月31日  
ご回答いただいた株主さま 321名（全体の6.4%）

## Q1 ▶▶▶ 当社の株式の保有期間



## Q3 ▶▶▶ 前回の「アクモスハイウェイ」で興味をもたれた記事をお選びください（複数回答可）



### アンケートご協力のお願い

当社では、株主のみなさまとのコミュニケーション充実を図るため、毎年、株主さまアンケートを実施しています。いただいたご意見・ご要望は、経営やIR活動の参考とさせていただきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

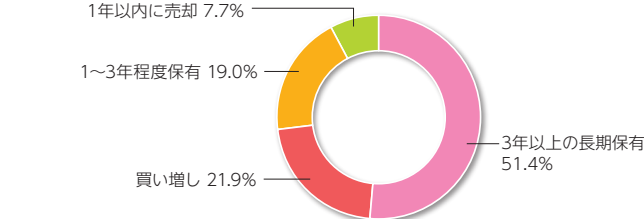
アンケート締切日：2020年10月31日（消印有効）

## 社会貢献活動

### ピースウィンズ・ジャパン（PWJ）南スーダン支援レポート

いつもご支援を賜り、誠にありがとうございます。PWJは、サバクトビバッタの大量発生により食料生産に甚大な被害を受けた農家に対して緊急支援を開始しました。内戦による食料危機に直面していた南スーダンの人々にとって、このバッタの大量発生はまさに追い打ちをかける出来事です。これに対応するため、PWJは害虫に対策可能な強い農業手法を学ぶ研修を実施し、多くの地元農家の方々が参加しました。また農作物の種子を配布し、これを活用して農家の方々は再び栽培を開始しました。困難にあっても前を向く南スーダンの人々のため、PWJは今後も支援を届けてまいります。引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

## Q2 ▶▶▶ 今後の当社株式の保有についての方針をお聞かせください



株主さまからのご意見

- ・企業価値の向上に努め安定的な成長を期待しています。（50代男性）
- ・これから発展していく事業だと思います。頑張ってください。（60代女性）
- ・魅力的な企業だと思うが、イマイチ株価に反映されていない。IRに力を入れて欲しい。（30代男性）



コミュニティリーダー等との打ち合わせの様子



牛鋤を使った農場整備の様子

# 会社概要 / 株式の状況

## ■ 会社の概況（2020年6月30日現在）

|      |                                                                                                                               |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商号   | アクモス株式会社                                                                                                                      |
| 設立   | 1991年8月23日                                                                                                                    |
| 資本金  | 6億9,325万円                                                                                                                     |
| 社員数  | 連結402名（単体254名）                                                                                                                |
| 主な事業 | ・ITソリューション<br>IT基盤設計・構築<br>SI・ソフトウェア開発<br>システム運用・保守<br>業務系アプリケーション開発<br>地図情報提供サービス<br>・ITサービス<br>情報処理サービス<br>ビジネスプロセスアウトソーシング |

## ■ 役員の状況（2020年9月24日現在）

|                |         |
|----------------|---------|
| 代表取締役会長 兼 CEO  | 飯 島 秀 幸 |
| 代表取締役社長 兼 COO  | 清 川 明 宏 |
| 取締役専務執行役員      | 石 川 稔   |
| 取締役専務執行役員      | 深 作 耕 一 |
| 社外取締役（常勤監査等委員） | 西 山 達 男 |
| 社外取締役（監査等委員）   | 板 垣 雄 士 |
| 社外取締役（監査等委員）   | 松 尾 恭 志 |
| 取締役（監査等委員）     | 金 子 登志雄 |

※第29回定時株主総会終了後の状況を記載しております。

## ■ 主な事業所

|        |                                                                                                                                                                                      |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 本社     | 〒101-0052<br>東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8<br>神田小川町三丁目ビル<br>TEL：03-5217-3121                                                                                                                  |
| その他事業所 | 〒310-0015<br>茨城県水戸市宮町一丁目2番4号<br>マイムビル10F<br>TEL：029-291-3410<br>〒319-1112<br>茨城県那珂郡東海村村松2713番地7<br>TEL：029-270-5555<br>〒300-0847<br>茨城県土浦市卸町一丁目1番1号<br>関鉄つくばビル2F<br>TEL：029-834-3391 |

## ■ 株式の状況（2020年6月30日現在）

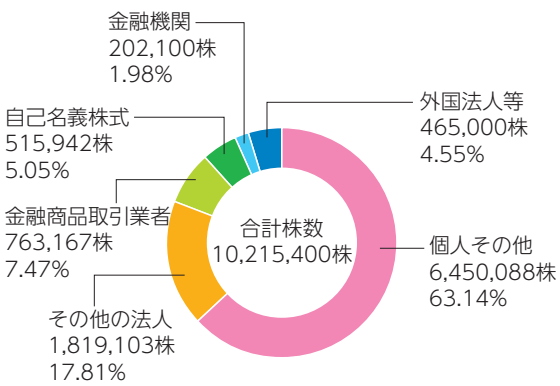
|            |              |
|------------|--------------|
| 発行可能株式総数   | 32,300,000 株 |
| 発行済株式総数    | 10,215,400 株 |
| 議決権を有する株主数 | 6,673 名      |

### 上位10名の株主の状況

| 株主名                                                       | 持株数（株）    |
|-----------------------------------------------------------|-----------|
| コンセーユ・ティ・アイ株式会社                                           | 1,770,000 |
| 飯島秀幸                                                      | 1,006,400 |
| アクモスグループ社員持株会                                             | 289,100   |
| JPモルガン証券株式会社                                              | 249,000   |
| 外池栄一郎                                                     | 180,000   |
| BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD | 172,400   |
| クレディ・スイス証券株式会社                                            | 169,900   |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社                                          | 132,000   |
| J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 13000000                 | 116,200   |
| 金子登志雄                                                     | 96,000    |

※自己株式を除く発行済株式総数の上位10名の株主を記載しております。

### 所有者別株式分布状況





## ■ 株主メモ

|                          |                                                                                                                                                                          |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度                     | 7月1日から翌年6月30日まで                                                                                                                                                          |
| 定時株主総会                   | 毎年9月下旬                                                                                                                                                                   |
| 公告方法                     | 電子公告<br><a href="https://www.acmos.co.jp/ir/brief_note.html">https://www.acmos.co.jp/ir/brief_note.html</a><br>(電子公告により行なうことが事故その他やむをえない事情によりできない場合には、日本経済新聞に掲載して行ないます。) |
| 株主名簿管理人<br>(特別口座の口座管理機関) | 三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                                                                                            |
| 同連絡先※                    | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>東京都府中市日鋼町1-1<br>電 話：0120-232-711(通話料無料)<br>郵送先：<br>〒137-8081<br>新東京郵便局私書箱第29号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部                                              |

- 株券の電子化に伴い、株主様の住所変更、その他の各種お手続きについては、原則として、証券取引口座を開設されている証券会社等で承ることになっております。
- 特別口座に記録された株式の各種お手続きについては、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせください。



本社  
〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8  
神田小川町三丁目ビル  
TEL：03-5217-3121  
FAX：03-5217-3122



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



環境に配慮した用紙、インク  
を採用しています。



証券コード：6888



アクモス 株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8 神田小川町三丁目ビル  
TEL：03-5217-3121 FAX：03-5217-3122 <https://www.acmos.co.jp/>

編集・発行 アクモス株式会社 経営企画管理部  
制作 宝印刷株式会社